

セキュリティと認証

図61：セキュリティと認証

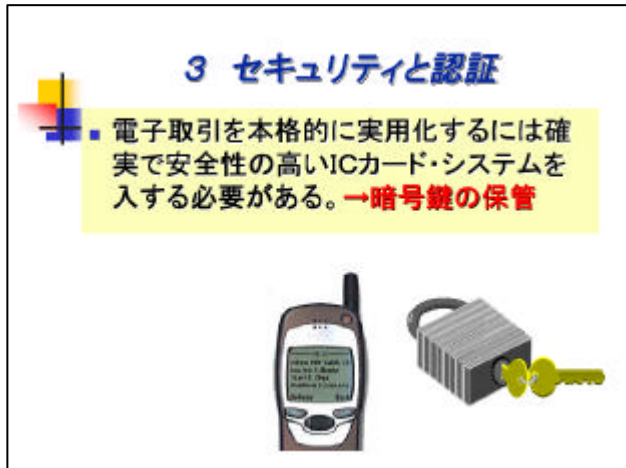
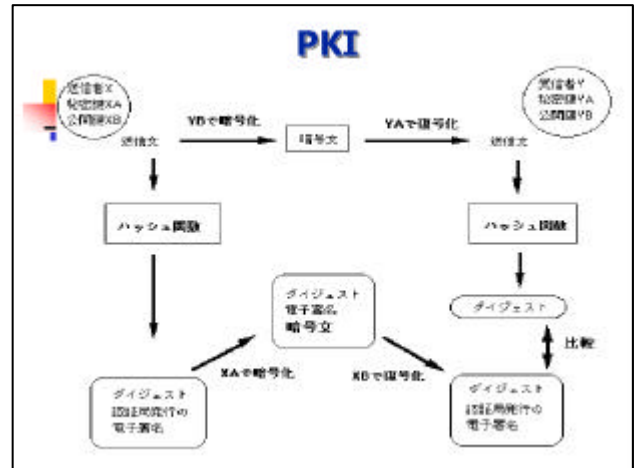


図62：PKI



既に時間が来ておりますので、質問のところでお答えさせていただこうと思いますが、アイデンティラスだけ、ちょっと申し上げておきます。これは企業間取引で、その認証はアメリカの金融機関、ヨーロッパの金融機関、日本の金融機関が共同で構築しようとする動きが出ています。本社はニューヨークにある。ルートCAをこのアイデンティラスに運用させるということで、金融機関が合意していると。これはベンチャーです。金融機関が立ち上げたベンチャーとっていいでしょう。

これを立ち上げた団体というのは、ここに書いてあるような金融機関です。バンク・オブ・アメリカ、シティ、チェースマンハッタン、パークレーズ、ナットウエスト、それからドイツ銀行、コメルツ、ドレスナーというような有力な銀行、それから三和、日本興業、三井住友、東京三菱です。来年、正式に基本的な設計仕様が公開されます。まだいま、

図63：Identrusとは

Identrusとは

日米欧主要金融機関が出資・参加する電子認証プロジェクト
～世界的に汎用性のある電子認証サービスの提供を目指す～

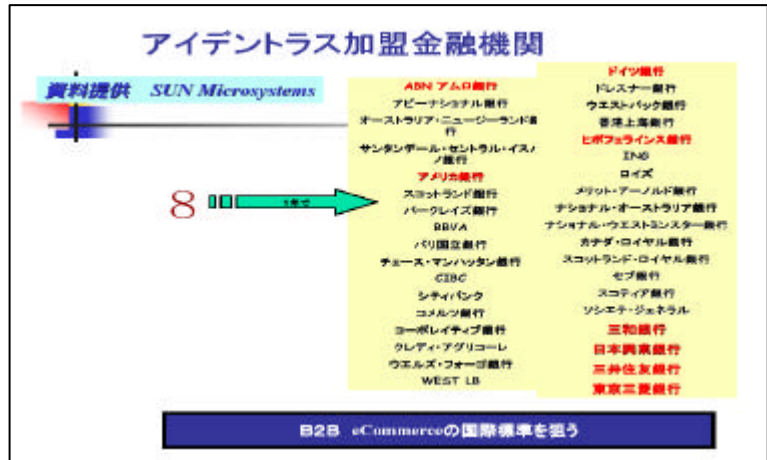
- アイデンティラス社 (Identrus LLC, 本社 ニューヨーク)
 - ・加盟金融機関共通の認証局運営ルールを制定
 - ・世界標準の技術をもとにシステム要件を策定
 - ・加盟金融機関を認証する最上位(ルート)認証局を運営
- 加盟金融機関
 - ・アイデンティラスの仕様に準拠した電子認証局を運営
 - ・アイデンティラス規格のデジタル証明書を顧客企業に発行

資料提供 SUN Microsystems

図64：アイドントラス加盟金融機関

策定中であるということがいえ

ます。我々も、その段階ですけれども、全く違うシステムにはならないように、いま、総合行政ネットワークのシステムをデザインしました。なぜならば、地方公共団体の金庫は銀行です。指定金融機関に全部お金が行って、納税の時などもそこで口座

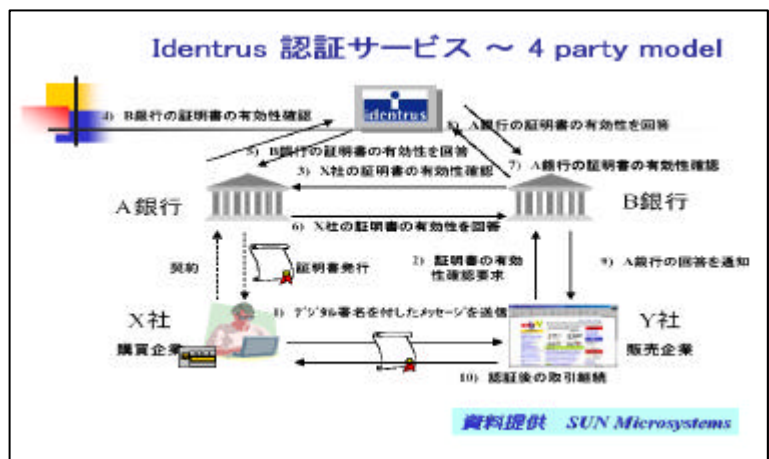


が振りかえられるということ。それから公共事業をやったとき、電子調達をやったとき、業者に支払いされるのは、その指定金融機関から業者のメインバンクにお金に移りますので、これと互換性のある電子認証、暗号を実装しないと、もう1回作らないといけなくなるわけです。そういうむだな投資はやめようということです。

それで、勝手に我々、そういう考えで動かしていましたけれども、今年の1月になって、一生懸命考えたら、はたとばかりをやっていまして、しまったと。アイドントラスに特許を侵害していないかどうか聞

図65：Identrus認証サービス

くの忘れていたと、すぐに我々の部隊に飛んでもらいました。アイドントラスに問い合わせましたら、特許侵害には当たらないと。むしろ我々と互換性を考えて、よく考えてくれた、どんどんやってください、進めていただいて結構であるという回答をいただいたものですから、安心して、1月以降は取り組んでいるところです。



ルートCAはアイドントラスが握りますが、レベル1のCAについては各国の主要金